# 大宮

THE ŌMIYA HACHIMAN

平成 27 年 (2015)
皇紀 2675 年

平成２７年 新春号 【第 101 号】

http://www.ohmiya-hachimangu.or.jp/

主な目次

年頭所感……２頁
新春初詣……３頁
御鎮座 950 年式年奉祝
第１期記念事業完了……４頁
早春の行事……５頁
杜の話題……７頁
初宮詣芳名・どんぐり通信……10 頁
正月社頭風景……12 頁

外拝殿北翼廊（銅板葺御屋根）・スロープ竣功清祓の儀

# 平成二十七年乙未歳の新春に当たり謹んでご皇室を中心とする国家の隆昌と氏子・崇敬者の皆様のご清福を熟祷申し上げます。

宮司　鎌田紀彦

お蔭様で昨年は、御鎮座九百五十年式年の奉祝記念事業の内、懸案の御社殿バリアフリー化整備事業として、外拝殿北側のスロープ設置工事に併せて、外拝殿南、北の両石階段に擬宝珠付き高欄増設並びに手摺りの新設工事に伴う、銅板葺屋根付き翼廊が、無節の柱、桁、梁等全て東濃檜製に依り御社殿に相応しくマッチした見事な両翼廊階段として、七ヶ月半掛けて昨年八月末に完成し、九月一日に竣功奉告祭並びに竣功清祓式を斎行させて頂きました。

この事は九月十五日付け発行の神社新報に、御鎮座九百五十年式年大祭を含め全頁特集記事として報道されました。

以降大宮八幡祭等諸祭典、家族連れの七五三詣や諸祈願でお越しの多くの昇殿参拝の方々にご利用頂いております。

今後の弓道場振武殿の屋根替え修理及び増改修工事については、目下建築確認申請中で、やがて区役所の許可がおり次第、着工の予定になっております。

これ等の記念事業の推進に当たりましては、奉賛会を結成頂き、各氏子地域で、奉賛金の勧募活動を活溌にお執り進め頂いた各実行委員（役員、総代、世話人）の皆様のご熱意とご努力により、多くの氏子・崇敬者の皆々様より多額の赤誠籠るご浄財をお集め頂きましたたまものと、深く感謝を申し上げる次第でございます。

ご祭神も心よくご嘉納下さり、ご奉賛の皆々様方を御祝福、御守護り御導き下さっているものと確信させて頂いております。

第六十二回神宮式年遷宮が行われている神宮では、引続き本年三月までに各別宮での遷御の儀が斎行される旨伺っております。尚神宮参拝者も昨年十一月末日で、一、三〇〇万人を越えていると漏れ承っております。静寂な神宮の参道を進みますと自ずと日本の伝統的精神文化である日本の心に触れられます。

ご参詣の多くの人々は日本人としての自覚に目覚められ、心の安らぎと自信を取り戻されて明日への生活の糧となっていることでありましょう。

いずれに致しましても参詣者が増えることは、日本国の安定にも繋がり有難いことでございます。

この度の式年遷宮の年の廻りに小生の周りで実にご神縁の繋がりを感じられるいくつかのことがありました。ご奉仕させて頂いている当宮が丁度、御鎮座九百五十年の式年に当たり、式年大祭、式年奉祝大祭を斎行させて頂き、流鏑馬神事を始め多くの奉祝神賑行事が奉納されたことは言うに及びません。

江戸時代の初期、元禄十年再建の当宮旧本殿及び拝殿向拝（民間に払い下げていたものが、この度、手離されることとなった）が、杉並区教育委員会文化財係の調査によって、当宮境内地に移設されれば間違いなく建築物としての有形文化財に指定されるべき建物であることが証明されました。急遽、責任役員会に諮り、取り敢えず入手（有料）することとなり、解体して各部材（再建のため番号付け、再び調査も有り）を当宮で保管することになりましたのも、偶然とは云え御神縁を感じざるを得ませんでした。

次いで丹波篠山出身の同郷の友人（火置弘氏）が現兵庫県篠山市大渕在住の火置家（本家）に伝承されていた日置家系図（仁賢天皇八年）の写しを基に、六年がかりで、丹後の元伊勢を調査する等、神宮司庁広報室の音羽悟氏のアドバイスを得ながら纏められた本『丹波篠山日置の古文書―ルーツの信憑性調査』（B5サイズ一二二頁）をこのほど上梓され、神宮へ献本されると共に、親族一同で相談され、将来のことを考慮して、系図の原本も神宮文庫に保存されることになったと伺いました。

系図に書かれている火置家の先祖「日置国雲命」が丹後の吉佐宮の神祇伯を勤められ、雄略天皇二十二年に豊受大御神を奉じて、今の伊勢の地外宮に奉遷されたと言う伝承を調査されたものであります。又その翌年「日置国雲命」が、南丹の篠山市大渕の地に本宮の外宮より御分霊をお遷しして神社を創建し、ご本人国雲命もご夫人春玉姫と倶に丹後より暖かいご当地に移り住み、代々神社をお守りして来たと云うものであります。

後に後鳥羽上皇が隠岐に下向の途時、当時丹波篠山、畑山の麓に隠遁されていた中宮承明門院源在子（土御門帝の母）を尋ねられた時、日置の一族が、松明を焚いてお迎えをして、後鳥羽上皇より火置姓を賜ったと云います（火置弘氏の先祖）。今はその神社も無く神社跡地が調査により判明しています。

ご本人は謙虚に先祖に守られ何かに導かれるように事が運んだこと、別けても奥様の病気が彼が神宮を訪れる度に快方に向かわれ、献本が決まり病院に見舞われますと、奥様はその日初めて風呂に入り身を潔め、歩けるまでに全快をされていたとの神秘体験の事も書かれていました。ご本人は洋画家として活躍中で、芦屋に住み個展も開かれ、海外での入賞作品も多くあり、無欲で只管一途に真面目な探究心が、ご先祖や神々に守り導かれたと思料されることを、本をご恵送戴いたお礼の手紙に書かせて頂きました。

第六十二回神宮式年遷宮の年に友人の努力が実を結び、外宮遷座の奉遷者が「日置国雲命」であった事が判明した事は神宮当局に於いても、神社界にとっても歴史上画期的なことであり、不思議なご神縁でございました。

平成二十五年から昨年秋に掛けて、公私に亘り不思議な御縁を戴きながら神明奉仕をさせて頂いております。

今年の新春もご神威輝くご社頭にお参り頂き、神々とのご神縁と絆を、より深くより太く強く結んで頂き、幸せ多き年でありますようご祈念致し年頭挨拶と致します。

# 明けましておめでとうございます

## 平成二十七年乙未歳正月

一日　観世流能楽師野村昌司奉納　神能『翁』
二日　小笠原流除魔神事　蓋目の儀・大的式

平成27年乙未（きのとひつじ）歳の幕開けは、元旦午前零時、境内に鳴り響き渡る初太鼓より始まります。この年の多幸を祈る参拝の方々でご社頭が濫れる中、ご神前では、観世流能楽師野村昌司氏により新春を寿（ことほ）ぐ**神能「翁」**が奉奏され、**厄除開運大祈願祭**（一番祈祷）が宮司以下祭員奉仕により斎行されます。明けて午前8時、**歳旦祭**が奉仕され皇室国家と国民の平穏を祈念します。翌2日は、午前10時より新春恒例の**除魔神事**（じょましんじ）「**蓋目の儀**（ひきめのぎ）」と「**大的式**（おおまとしき）」が宗家小笠原清忠氏率いる小笠原流一門によって奉仕されます。3日は皇位の元始を寿ぐ「**元始祭**」を斎行。大宮の杜の一年が始まります。

## 平成二十七年 新春の祭典と主な行事

| | |
|---|---|
| 1月1日 | 神能「翁」 |
| | 厄除開運大祈願祭（一番祈祷） |
| | 歳旦祭 |
| 1月2日 | 小笠原流蓋目（ひきめ）の儀・大的式（おおまとしき） |
| 1月3日 | 元始祭 |
| 1月7日 | 昭和天皇祭遙拝 |
| 1月15日 | 古神札焼納祭（どんど焼き） |
| 1月25日 | 初天神祭［大宮天満宮］ |
| 1月26日 | 文化財防火デー消防演習 |
| 2月3日 | 節分祭 |
| 2月11日 | 紀元祭 |
| | 初午祭［大宮稲荷神社］ |
| 3月春分 | 春季皇霊祭遙拝 |
| 4月上旬 | 桜まつり |
| 4月3日 | 神武天皇祭遙拝・本宮遙拝 |
| 4月29日 | 昭和祭・春の弓道奉納射会 |
| 5月3日～5月5日 | 大宮八幡宮わかば祭り（春の大祭） |
| | 第一日ノ儀　こどもの祭り・稚児行列（3日） |
| | 第二日ノ儀（4日）　植樹祭［苗木配布］（4日） |
| | 当日祭（尚武祭）（5日） |
| 5月16日 | 裏千家献茶式 |
| | 御嶽棒名神社例祭［御嶽棒名社］ |
| 毎月1日 | 朔旦祭 |
| 毎月15日 | 月次祭（どなたでもご自由にご参列出来ます。） |
| 毎月25日 | 大宮天神月次祭 |

**毎月・お朔日（ついたちまい）参りを致しましょう**

## 謹賀新年　平成二十七年元旦

**大宮八幡宮**

**代表役員**　宮司　紀彦
鎌田

**責任役員**
五本木　徳治
藤枝　宏
岩崎　太良
内山　誠
玉瀬　恭男
村沼

**議長**　吉田　青木
葉梨

**監査**　笠原　紀一
松島　憲治
鈴木

**総代**

**大宮地区**
荒井　五本木　徳一治
請井　勝雄
関　昭
青木　龍
根岸　又治
末柄　哲男

**方南南地区**
三枝　栄治
吉田　太郎
丸山　武彦
内山　光男

**方南北地区**
岩田　文雄
岩崎　太良
齊藤　美夫
鈴木　憲三
細野　修三
多

**和田東地区**
梅田　清彦
横尾　信央
佐野　晃男
岩船　守一
玉村原　紀男

**和田西地区**
飯高　朝資
浅川　静友
藤枝　宏男
梅田　博
森　純一
葉今

**松ノ木地区**
松島　忠一
太田　正一
瀬上　武男
瀬沼　年治
松島　宏章
小川　敏夫
井宗　邦之
松川　次郎

**相談役**
高橋　住夫雄
田木千

**兼務神社総代会長**

**堀ノ内熊野神社**　渋谷　達雄

**成宗白山神社**　岩田　和保

**尾崎熊野神社**　安藤　雄次

**大宮八幡宮敬神婦人会（りんどう会）**　会長　鎌田　民枝

**大宮八幡宮氏子青年会**　会長　井川　邦夫

# 御鎮座九百五十年式年奉祝 第二期記念事業を完了

当宮では去る平成25年に御鎮座九百五十年を迎えて式年大祭・奉祝大祭が盛大に斎行されましたが、これに合わせかねてより進められていた社殿のバリアフリー化を中心とする第二期記念事業がこのほど竣功。9月1日朔日祭に併せて竣功奉告祭が斎行されました。氏子・崇敬者など約100人が拝殿に参列する中、宮司が祝詞を奏上、第二期記念事業の完了を奉告しました。引き続き宮司がスロープなど記念事業で完成した外拝殿南北両翼廊の各所を祓い清めました。

竣功奉告祭

外拝殿北翼廊・スロープ清祓の儀

外拝殿南翼廊清祓の儀

## 参拝しやすさを追求して境内整備

第二期記念事業の中心となった「御社殿バリアフリー整備・スロープ工事」では、外拝殿の北側にスロープを設置しました。これは地面から1.9メートルの高さとなる拝殿床面まで、左右と登るつづら折りの石畳の緩やかな長いスロープを設け、車椅子を使用する人や高齢者でも昇殿しやすくなりました。また外拝殿の南北に設けられていた石階上には、東濃檜を用いた銅板葺御屋根の翼廊を新設（北側には石畳参道も新設）。また外拝殿高欄の擬宝珠と錺金具も修復されました。

なお今回南北石階段中央には波形手摺り（クネット手摺り）が新設されましたが、これは水平部分と傾斜部分で構成され膝への負担が軽くなるとされています。

第二期記念事業では、このほか表参道石階段に高欄風手摺り（アルミ製）及び波形手摺りを設置、御社殿内拝殿の御帳・外拝殿及び神門の門帳を新調し、表参道へ大幟ポール一対が設置されました。今後は、南参道鳥居扁額の補修、弓道場振武殿の改修を行う予定です。

また、この工事に先立ち、清涼殿の整備を実施。平成24年9月には階段のバリアフリー整備として、波形手摺り設置や内装改修工事・亀の間・ロビー・階段のカーペット張り替え工事を完了しました。今後は第二期記念事業としてさらに清涼殿のバリアフリー整備を進め、エレベーター設置やトイレ改修等付帯工事を予定しています。

外拝殿北翼廊クネット手摺り

外拝殿北翼廊

外拝殿南翼廊

# 御鎮座九百五十年記念事業 ご奉賛のお願い

緑豊かな、都心の杜に静まり氏子崇敬者の心の故郷であります当宮は、平成二十五年、御鎮座九百五十年式年の佳年を迎え、式年大祭並びに式年奉祝大祭が厳粛に賑々しく斎行されました。

この意義ある式年の佳節に当たり、私共の遠い父祖の代より氏子の人々がその時々に、ご神恩に感謝しつつ、一つ心に赤誠を尽して営々と努力され、鎮守の杜に相応しくご社頭を整備して今に残して下さっている様に、私共も先人に見習い、これから続く子や孫の為にも意義ある記念事業を実施して、氏神信仰に受継がれてきた尊い伝統を次世代へ継承し、報恩感謝の真心を捧げて参りたいと念願致し、平成二十四年に奉賛会を結成し奉賛金勧募活動を実施致しております。

つきましては式年大祭はもとより奉祝行事や、御鎮座九百年以降の境内整備の集大成と位置付け、境内のバリアフリー化を中心に、記念の諸事業を進めております。何分この重要な記念事業には相当高額な経費を要する見込みでありますので、二期に分けて計画させて頂きました。

時節柄洵に厳しい時ではありますが、引続き、何卒本事業が達成されますよう本会の志すところを十分ご賢察賜り、大宮・方南南・方南北・和田東・和田西・松ノ木の各六地区の氏子の皆様方を始め、崇敬者各位の格別のご篤志を仰ぎ絶大なるご奉賛を切に懇願申し上げる次第でございます。

平成二十七年　新春

大宮八幡宮奉賛会

氏子崇敬者各位

## 記念事業の主な概要

◇第二期事業

一、御社殿北側バリアフリー化整備
　・スロープ設置工事
一、外拝殿南北両石階段バリアフリー整備
　・擬宝珠付高欄（檜材）増設工事
　・クネット手摺り設置工事
　・銅板屋根掛工事＝翼廊
一、御社殿内拝殿御帳・外拝殿及び神門帳の新調
一、表参道大幟ポール（一対）設置工事
一、南参道鳥居扁額の補修工事
一、弓道場振武殿改修工事
一、結婚式場清涼殿階段バリアフリー整備
　階段クネット手摺り設置工事
一、結婚式場清涼殿「亀の間」改修工事
一、結婚式場清涼殿ロビー・階段
　カーペット張替工事
一、祭典費・記念品費・事務費等諸経費
　合計九、九〇〇万円

◇第二期事業

一、結婚式場清涼殿バリアフリー整備
　エレベーター設置工事
　トイレ改修等バリアフリー付帯工事
　合計五、四〇〇万円

総事業費一億五、三〇〇万円

※青文字の事業は、既に工事完了した事業です。

## ご奉賛金の勧募

一口（一万円）以上お願い致します。尚、五口以上ご奉賛の方々には記念の石碑にお名前を刻し永久に保存させて頂きます。また、一口以上ご奉賛の方々には芳名板（板札）にて受付後、随時お名前を掲出させて頂きます。

御芳名を芳名板（板札）に掲出致します

石碑に御芳名を刻し、境内に保存・掲出

※御鎮座940年の石碑です

# 大宮八幡宮 早春の行事

## 新春恒例の除魔神事、蟇目の儀・大的式

1月2日午前10時より新春恒例の除魔神事、**蟇目の儀・大的式**が小笠原流ご宗家始め一門の方々により奉仕されます。矢先につけた鏑の形が蟇蛙に似ていることから蟇目鏑といい、鋭い風切り音によって魔障を退散させるといわれています。大的式は、日本書紀の清寧天皇の御世に射を行わせ給うたとの記載ある千五百年前より公家、武家に行われている重儀。神前で弓矢の徳威を示し、天下泰平、国家安穏を祈念する弓始めの神事です。

## 成人奉告祭ご案内

新年を迎え新たに成人したことをご神前に奉告する**成人奉告祭**を随時ご奉仕しています。ご祈願の新成人の皆様には宮司揮毫の干支絵馬を、特別授与致しております。

新成人の皆様のお参りをお待ちしております。

## 古札焼納祭（どんど焼き）斎行

小正月の1月15日、一年の間お護りいただいた御神札や御守りなどに感謝しお焚き上げする**古神矢・古神札等焼納祭**が斎行されます。午前10時より社殿にて月次祭並びに**焼納奉告祭**を斎行後、午前11時半より境内斎場にて**どんど焼き神事**が執り行われます。斎場には、年末年始にお預かりした御守りや守護矢、注連縄などがうず高く積み上げられ、お祓いの後、まず**火鑽神事**により人力で火を熾し浄火によって古神札等が焚き上げられます。燃え盛る古神札の前では神職や参列員らが大祓詞を奏上して感謝と除災を祈り上げます。

また当宮敬神婦人会（りんどう会）奉仕により境内では、「**厄除けぜんざい**」が振る舞われます。

## 厄除開運大祈願祭（一番祈祷）

元旦の午前零時、**神能「翁」の奉納**に続き、その年最初の祈願祭である「**厄除開運大祈願祭（一番祈祷）**」が宮司奉仕により執り行われます。

この祈祷にご参列希望の方は、新春初祈願の予約申込みを12月20日までに事前にお済ませの上、大晦日12月31日午後11時20分から40分までに神門横祈願受付で一番祈祷参列受付票をご提示下さい。

※先着50組（定員となり次第締切）

※大晦日当日の受付は致しません

## 新春初祈願 企業団体の祈願祭も

新春に当り氏子崇敬者の皆様の新しい年のご繁栄をお祈りする**新春初祈願祭**を連日ご奉仕させて頂きます。

又、企業・団体様の仕事始めに合わせて、更なるご発展を祈る祈願祭もご奉仕しております。ご祈願の際は代表様・従業員の皆様もお揃いでご昇殿頂きます。この新春にお揃いでご祈願を受けられまして、清々しい気持ちで一年の仕事始めとされては如何でしょうか。

新春祈願・企業団体祈願をご希望の方は、社頭の申込書に必要事項をご記入の上、ご予約をお願い致します。

※御神札には、祈願名と代表者名を浄書させて頂きます。

## どんど焼きにご協力のお願い

御神札等をお納め頂く際に全て点検・選別させて頂き、**神社関係以外のもの・燃えないもの・有毒物質の発生の恐れのあるもの（プラスチック製品等）・包装紙**は、その場でお持ち帰り頂いております。

◆**御守り・古神矢・古神札類（他の神社のも可）**及び**正月飾り**のみお預かり致します。

◆人形類は、別途ご社殿におきまして**人形感謝祭**を斎行してからお納め頂きますので、直接祈祷受付所へお申し出下さい。（※但し、ぬいぐるみはお預かり出来ません）

## 御鎮座九百五十年式年 奉賛者芳名簿（その7）

平成26年8月1日～12月9日
（※一万円以上のみ掲出、敬称略、順不同）

### 大宮地区

**一金伍萬円**
表参道商会
上田

**一金参萬円**
細谷ローレンス

### 方南南地区

**一金伍萬円**
（株）興信建設
代表取締役 横山惠志郎

**一金壱萬円**
中川慧

### 和田東地区

**一金伍萬円**
横尾信彦

**一金弐萬円**
髙木タカ子

### 松ノ木地区

**一金伍萬円**
中根方夫

### 社務所扱

**一金参拾萬円**
天徳院
住職　大藪正哉

**一金弐拾萬円**
清水威人

**一金壱拾参萬円**
小山泰裕
（計弐拾壱萬円）

**一金壱拾萬円**
南條美代子
村田浩樹

**一金伍萬円**
齋藤崇之
中島義雄
寺田光正
中島よう
篠山鳳鳴同窓会
東京三二会
立正佼成会 調布教会
教会長　東　伸吉

**一金弐萬円**
永山和洋

**一金壱萬円**
小形彰次
福田雅則
坂本彰司
石森啓靖
塚田清一
小坂　昇
（計伍萬円）
岩間靖子
（計六萬円）

## 初天神祭を奉仕

1月25日、当宮境内社の大宮天満宮では午前10時より**初天神祭**を斎行。学問の神と崇敬の篤いご祭神菅原道真公に学業成就・技芸上達を祈念します。

## 文化財防火デー 消防演習

文化財防火デーは、法隆寺金堂壁画の焼失の教訓から1月26日に設けられた日で、当宮では恒例の**消防演習**が行われます。当日は当宮自衛消防隊・杉並消防署・杉並消防団第二分団のご協力のもと、避難誘導・社殿への斉放水等が実施されます。

## 節分祭 魔を祓う追儺（ついな）の神事

季節の変わり目である立春の前日は年の始めとして重視され節分といわれ、2月3日には午前10時より**節分祭**が斎行されます。古儀に則り桃の弓・葦（あし）の矢で「天・地・人」に潜む魔を射る**追儺神事**が行われ、続いて社殿前にて当宮幼稚園園児が鬼に扮して邪気を祓う**豆撒き神事**も執り行われます。

## 新春献燈提灯奉納のご案内

新春の期間中多くの参拝者をお迎えするに当り、皆様方のお名前を入れた献燈提灯を掲出させて頂き、ご社頭を尚一層賑々しくお飾りさせて頂きたく存じおります。

つきましては、左記によりご献燈を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

記

掲出期間　1月1日から2月3日まで
初穂料　一燈一〇、〇〇〇円
申込締切　12月25日

## 紀元祭並橿原（かしはら）神宮遥拝

2月11日は建国記念の日（紀元節）。午前10時より**紀元祭**を斎行。日本の建国に思いを致し皇室国家の繁栄、国運の隆昌と世界の平和をご祈念申し上げます。初代神武天皇が大和橿原宮で即位されたことを寿（ことほ）ぎ橿原神宮を遥拝しています。今年は皇紀2675年になります。

## 毎月お朔日（ついたち）参りに 月参り御幣守護

当宮では古くより朔日（ついたち）（一日）、十五日に月参りをされる参拝者の方々が多く、こうした方々に年間を通じて八幡大神様（おおかみさま）のご神威をお受け頂こうと、毎月の朔旦祭（さくたんさい）に併せてお朔日参り「**月参り御幣守護**」のご祈願を奉仕しております。

月毎にお申し込みの場合初穂料三、〇〇〇円、年間一括でお申し込みの際は初穂料三〇、〇〇〇円にて斎行させて頂いております。

## 大宮稲荷神社初午祭奉仕

本年の初午は2月11日。和銅4（711）年の初午の日に稲荷大神が京都の伏見の峰に下られた故事により全国の稲荷神社で初午祭がご奉仕されています。大宮稲荷神社では、午後1時より初午祭が斎行されます。鮮やかな朱色の百数十本の初午幟（はつうまのぼり）の建ち並ぶ稲荷神社に幟奉納者等崇敬者の参列のもと祭典が斎行され、五穀豊穣・家内安全・商売繁盛が祈念されます。また、兼務社の堀ノ内熊野神社・尾崎熊野神社、境外社の谷中稲荷神社でも初午祭が執り行われます。

## 初午（はつうま）のぼり奉納募集

お稲荷様は、商売繁盛・家内安全のご利益のある神様です。本年も、左記により商売繁盛・家内安全等を祈願の「朱色のぼり」を大宮稲荷神社のご社頭にご奉納賜りますよう、ご案内致しお願い申し上げます。

一、朱色のぼり　一口三、〇〇〇円

（出来れば一対二口以上でお願い致します）
のぼりには、御氏名（又は会社名）を入れさせて頂きます。

# 杜の話題

## 秋の大宮八幡祭り斎行

平成26年の**大宮八幡祭り**（秋の大祭）は、9月15日の例祭を中心に行われ期間中は多くの参拝者で賑わいをみせました。まず13日の夕刻に**宵宮祭**を斎行。大宮幼稚園の園児神輿宮入り、夜には杉並太鼓が祭りの勢いを演出しました。翌14日には、**氏子奉幣祭**を斎行。大宮・方南南・方南北・和田東・和田西・松ノ木の氏子6地区より氏子幣が献じられ、奉幣使（岩崎太良責任役員）により氏子祈願詞が奏上されました。日中には、氏子各町会の神輿が次々と社参、そして午後6時、**第29回神輿合同宮入り**が斎行され、各氏子地区より9基の神輿が威勢よく次々にご神前に練り込み、城西随一ともいわれる神輿振りに、境内は熱気と興奮の坩堝（るつぼ）と化しました。日中は、終日に亘って高井戸囃子が祭りの彩りを奏で、午後1時には、小笠原流宗家による**弓の神事**「三三九手挟式（さんさんくてばさみしき）」が奉納され、またボーイ・ガールスカウト達によるバザーが行われました。15日午前10時より松山東京都神社庁長が献幣使として参向のもと**例祭**が厳粛に斎行されました。大宮幼稚園園児による朝日子の舞・佼成雅楽会により舞楽「陵王」が奉奏され、皇室国家の安泰と秋の収穫を感謝し、氏子・崇敬者等の更なる繁栄を祈念致しました。境内では佼成雅楽会による舞楽「陵王」・「納曽利」を奉納や裏千家淡交会東京第6西支部担当による**野点茶会**も開かれました。

## 第16回菊被綿（きくのきせわた）飾り

大宮八幡祭りの装いは重陽の節句行事「菊被綿」より始まります。重陽の前日9月8日の夕刻に、菊の花を真綿で覆って菊の香りを移し、9日の朝に露で湿ったこの真綿を顔に当てて若返りを願うもので、平安前期の宇多天皇の御代に宮中行事として取り入れられました。当宮では8日の夕刻に菊被綿神事を斎行し、翌9日の朝御饌祭にお供えし、大祭終了の16日まで清涼殿ロビーに展示され多くの方々にご観覧いただきました。

## 第14回十五夜の神遊び

秋の風物詩の「**十五夜の神遊び**」は十三夜の10月5日（日曜日）に開催されました。「**月の音舞台**（コンサート）」として奉納される演奏は、尺八奏者として知られる「き乃はち」氏とバイオリンの共演でした。折しも、台風18号の接近により雨模様となり、拝殿での奉納演奏となりました。殿内での演奏は、ひときわ澄んだ音色が響き陪観者の心に染み渡りました。

## 東郷神社福田勉宮司ら正式参拝

9月18日、秋晴れの爽やかな日、この度宮司に就任された東郷神社福田勉宮司が、引続き11月21日に嶋田耕一名誉宮司並びに氷室千春権宮司が来宮、就任奉告の正式参拝をされました。

## 叶（かのう）神社御一行正式参拝

10月5日、神奈川県横須賀鎮座の叶神社、感見（かんみ）宮司以下79名のご一行がバス2台で来宮されました。当日は道路事情に恵まれ早くお見えになり、時間に余裕を持っての参拝となりました。神職説明のあと、境内を散策、清涼殿にて休憩ののち、次の訪問先のお台場へと向かわれました。

## 戌の日詣りは

### 子育八幡さまの当宮で母子共に安産祈願を！

※戌の日以外でも随時お受けしております

ご祈願の方には**安産腹帯**（**大宮八幡息長帯**（おきながおび））と共に、〈その緒で結ばれたお母様とお子様が健康にご出産の時を迎えられますようにとの願いが込められた「**母子緒守**」と「**安産祈願絵馬**」を特別に授与しております。

## 戌（いぬ）の日早見表

（平成27年1月～5月）

| 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 |
|---|---|---|---|---|
| 10日（土） | 3日（火） | 11日（水） | 4日（土） | 10日（日） |
| 22日（木） | 15日（日） | 23日（月） | 16日（木） | 22日（金） |
| | 27日（金） | | 28日（火） | |

■は大安の日です

## BSジャパン「神社百景」に大宮八幡宮が

「神社百景～GRACE OF JAPAN～」は、日本全国の神社を毎週一地域に絞り、その地域に鎮座する神社とその周辺の町の魅力、自然を交えて、俳優の伊藤英明氏がナビゲーションする神社を題材とした教養情報番組です。第126回として大宮八幡宮がテーマになり、平常の閑静な状況と秋の大祭の神輿合同宮入りの再度に亘る撮影があり、宮司も取材を受けました。30分番組ではありますが当宮のことが丁寧に紹介されています。この番組は、10月25日12時よりBSジャパンにて放映されました。なおこの番組は清涼殿ロビーにて常時観ることができます。

## 崇教真光（まひかり）東京道場正式参拝

昨年の式年奉祝大祭（例祭）に参列され、祝賀直会で挨拶を戴きました、飛騨高山の世界総本山、崇教真光岡田第三代教え主様の東京の組織である崇教真光・東京大道場、大高洋一道場長以下役員幹部の方々40名が11月16日に正式参拝されました。その折、大高道場長は自ら世界平和の祈願文を奏上されました。参拝後は清涼殿羽衣の間にて直会のご神酒を拝戴した後宮司より挨拶を致しました。

## 第36回杉並大宮菊花展

秋の恒例行事の第36回杉並大宮菊花展が10月22日より11月24日まで杉並大宮菊の会（会長五本木徳治役員）主催より開催。例年に比べ開花が早いようでしたが、七五三詣りの家族連れが「753文字菊」の前で記念撮影をする姿が例年の如く見受けられました。11月10日には審査会が行われ宮司賞以下を選定。12月9日には第36回杉並大宮菊花展表彰式が執り行われました。

## 第36回杉並大宮菊花展受賞者

| | |
|---|---|
| 宮司賞 | 倉本栄子（國華聖者） |
| 杉並区長賞 | 五本木徳治（天女姿） |
| 会長賞 | 本橋利夫（大宮の雪） |
| 責任役員賞 | 櫛田晃一（國華越山） |
| 京王電鉄賞 | 倉本晴雄（國華聖者） |
| サミット賞 | 中村幸之輔（泉郷富水） |
| みどりの会会長賞 | 髙橋住雄（懸　崖） |
| 審査委員長賞 | 三上忠彦（大花金翁） |
| 末柄賞 | 山田恭市（國華花鳥） |
| 藤枝賞 | 青木弘次（大花金翁） |
| 八幡前通り商栄会賞 | 加藤英明（国華茜雲） |
| 新人賞 | 五本木秀子（天女姿） |
| 金　賞 | 松尾和雄（太平銀月） |
| 銀　賞 | 受賞者7名 |
| 協力賞 | 受賞者3名 |
| | 受賞者2名 |

## 松島総代稲荷社遷座・石燈籠一対を奉納

10月26日、松ノ木地区にて代々敬神の念篤い松島武治総代の稲荷社正一位東関森國蔵五社稲荷神社がこの度、同氏邸内に社殿が新しく造営され、正遷座祭が宮司以下祭員に依り斎行されました。同社は長き年月に亘って五日市街道より入った一画で手厚くお祀りされてきましたが、管理面のこともあり、松島邸内に新たに遷されお祀りされることとなりました。また、旧域にあった石灯籠一対が、当宮に奉納され11月14日、北参道入口に設置されました。12月11日には石灯籠の奉納奉告祭が斎行されました。

## 秋の実りに感謝　新嘗祭（にいなめさい）斎行

11月23日午前9時より130名の方々のご参列のもと新嘗祭が斎行されました。新穀を大神様にお供えして秋の収穫を感謝する新嘗祭は、宮中では天皇陛下御親（みずか）らご奉仕され、これに神習い、全国津々浦々の神社で斎行されています。当宮では幼稚園園児等が収穫した稲穂の初穂をはじめ、篤志家やボーイ・ガールスカウト、氏子・崇敬者、各企業よりの新穀や清酒、野菜や果物などの沢山の品々が庭積（にわづ）神饌（しんせん）として献納されました。

## 第二回フォトコンテスト作品募集中

当宮の自然や行事風景を、プロ・アマ問わず写真愛好家の方々の目で写し撮って、その作品を八幡大神様にご奉納頂きます。平成27年の大宮八幡祭り（秋の大祭）期間中に展示し、ご参拝の皆様に楽しんで頂きたく、昨年に引き続きフォトコンテストを開催致しております。

**応募期間　平成26年5月1日～平成27年6月30日（1年間）**

**Aコース：2Lサイズ部門**
**Bコース：4ッ切サイズ部門**

大宮八幡宮に関係した作品であれば、風景・人物・行事等テーマは自由です。但し、各神事での撮影禁止事項をお守り下さい。

両コース共に、写真店での現像にてご応募下さい。（一人5点まで）

応募作品についての注意事項は、社頭やホームページ上にて要項をご確認下さい。

**協力写真店**

**ホッタカメラ本店（浜田山）**
**フォトグラフ三光堂（大宮八幡宮入口）**
**パレットプラザ永福町店（永福町）**
**カメラハウス本店（久我山）**
**ストックワーク（中野）**

※入賞作品の著作権は応募者本人に帰属しますが、使用権は主催者に帰属するものとし、展示や当宮の出版物・広報・インターネット等に無償で使用させて頂きます。（※各媒体掲載時には、氏名のみを掲載させて頂きます。）

## 神宮大麻頒布式並びに氏神神社神符等奉戴式

11月6日、氏子・崇敬者や全国の立正佼成会会員の方々にお頒ちする**神宮大麻頒布**並びに**氏神神社神符等奉戴式**が行われました。五本木責任役員を始め・総代及び各兼務社の役員、立正佼成会神札頒布責任者の小松延江様のご参列のもと神宮大麻を始め各氏神大麻・大宮三宝荒神などの神札類の奉戴始めを大神様に奉告後、参列のご代表が各々奉戴致しました。12月中旬より神職が各ご家庭にお伺いして神宮大麻頒布始め並びに各氏神大麻・大宮三宝荒神などの神札等をお頒ち致します。ご希望の方は当宮社務所、若しくはお近くの当宮責任役員・総代にお申し出下さい。新年には各ご家庭や会社の事務所の神棚に新しいお神札をお祀りして清々しく新年を迎えましょう。

## 第24回杉並花笠祭り開催

初冬の風物詩である**杉並花笠祭り**（主催：サミット（株）、（株）サミット・コルモ、大宮八幡宮）が第24回を数え、12月第2土曜の13日、開催されました。表参道では花笠踊りのパレードが練り歩き、山形県の郷土料理である芋煮や御神酒などが振る舞われ、山形特産の農作物や特産品の露店が立ちならび、午前10時から午後3時までの間約3万人の参拝者で賑わいました。

## りんどう会だより

### 御垣内清掃奉仕

秋の例大祭（大宮八幡祭り）を目前に9月8日、瑞垣に囲まれた御本殿周りの神域である御垣内を、鎌田会長ら11名の会員がまず社殿で修祓を受けて参入、落ち葉などを丁寧に取り除きました。

### りんどう会研修旅行

りんどう会の研修旅行が11月12日に行われ鎌田会長をはじめ29名が参加しました。当日早朝、旅行の安全をご神前に祈願参拝し西多摩へ一路出発。まず福生市内の熊川神社に参拝、境内には七福神が祀られ一社七福神とも呼ばれる神社。昼食は大多摩ハムにて洋食を堪能し次いで石川酒造を見学。国営昭和記念公園内にある昭和天皇記念館を見学。充実した研修旅行となりました。

## 氏子青年会だより

### 表参道注連縄張り

秋の大祭を控えた9月6日、早朝より表参道両側、方南通りの注連縄張りが氏子青年会23名の手により奉仕されました。神輿合同宮入りの渡御道を飾りつけて秋祭りの雰囲気を高めました。

### 大宮八幡青空市

11月2日と9日に境内神門前において、大宮八幡青空市が開催されました。JA東京中央グリーンセンターの協力のもと、地元で採れたネギ・キャベツ・大根や果物が並びました。スーパーボールすくいや焼きそば・ポテト等の出店もあり、七五三詣りの家族等が和やかに立ち寄りました。

## 新春厄除け祈願のご案内

厄年は、古来人生の節目として特に気をつけなければならないとされている年回りです。厄除けのお祓いをお受けになり、清々しい一年に致しましょう。

### 平成二十七年 厄年表（数え年）

| 男性 | 前厄 | 大厄 | 後厄 |
|---|---|---|---|
| | 平成 4 年生(24歳) | **平成 3 年生(25歳)** | 平成 2 年生(26歳) |
| | 昭和50年生(41歳) | **昭和49年生(42歳)** | 昭和48年生(43歳) |
| | 昭和31年生(60歳) | **昭和30年生(61歳)** | 昭和29年生(62歳) |

| 女性 | 前厄 | 大厄 | 後厄 |
|---|---|---|---|
| | 平成10年生(18歳) | **平成 9 年生(19歳)** | 平成 8 年生(20歳) |
| | 昭和59年生(32歳) | **昭和58年生(33歳)** | 昭和57年生(34歳) |
| | 昭和55年生(36歳) | **昭和54年生(37歳)** | 昭和53年生(38歳) |
| | 昭和31年生(60歳) | **昭和30年生(61歳)** | 昭和29年生(62歳) |

※大厄の前年は前厄、後年は後厄にあたります。厄年に限らず、除災招福の厄除祈願を受けることが出来ます。

## お知らせ

昭和56年8月に創刊された社報「大宮」。皆様方のご支援により昨号で第100号を迎えました。本101号よりサイズもA4に変え、心機一転取り組んで参りたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

お子様のお健やかなご成長をお祈り致します

# 初宮詣芳名（抄）

（平成26年8月1日～11月24日）

菅原悠聖　黒崎瑛太　泉遥大　秦瑞季
安藤美澄　福岡那ノ芭　谷葉月　熊谷彩世
池上歩孝　井内愛唯　結城旺己　梅村希
田中颯壱　諫早信之介　網野旬里　西林茉莉花
福富崇太　小林鈴奈　平木凜　金子恵美里
小田嶋悠成　原田紘愛　佐藤真翔　綾部頼人
小倉大和　西山稜貴　柳澤希咲　木下颯人
住江紫　鎌田悠星　森内恵音　三島直純
花津谷漣音　嵯峨晴登　山田理仁　神田篤志
渡部理央　木津七海　朝日夏希　坂本麗奈
松下瑠晟　市川旭飛　内波汐　小林光璃
渡邊花夏　市川誠道　藤平志穂　渡邊香乃
駒﨑朝陽　小倉悠渡　小熊洸輝　坂入美彩
細谷采椰　佐藤周　鈴木智裕　新免美晴
富塚徹哉　西尾琥太郎　能澤結月　緒方悠騎
阿部姫愛　後藤英那　花巌つばさ　冠城昌示
齊藤寧音　杉田夏月　羽生琴葉　岩﨑健悟
小薗怜央　日高那紗　早田健太郎　飯田悠斗
塩﨑愛実　津田陽葵　中丸未久　小沼莞太朗
堀江里香　永田莉子　杉山快飛　髙橋このみ
香取美緒　松尾紗里　佐々木一心　吉田彪吾
三上侑真　川端紗綾　中島大祥　村上遥花
田渕匠　神保圭吾　小林和眞　土屋琴葉
渡邊大雅　千葉綾乃　瀬之口千寿　髙野由翔
野﨑彩加　元木蒼　本山響　松村俐希
山本光風　藤宮秀峰　森岡諒太　和栗悠
千葉律佳　奥野伊織　池田直樹　新保あずみ
吉久碧香　上杉海凛　星野朝都　赤沼航希
井手隆星　中嶋夏海　小野田篤　中村浩太朗
藤本悠花　赤坂友翼　松尾実桜　能見一輝
上野眞生　坂本結架　大塚心結　鱒彩音
今林千詠　田島沙夏　長坂碧　谷澤伊織
梅澤るり　江口芳康　丹下櫂斗　川畑心音
福永陽織　鈴木理仁　品野蒼太　吉田章人
是枝希帆子　髙木凰玖　増田帆夏　日置杏莉

平野陽音　千葉虹輝　角越琴音
蜂矢優　根本祥太朗　木村珠莉
髙藤夏帆　雑賀美里　淺野伶莉
外﨑柚衣　吉田椛香　久保樹
佐々木奏　松本環奈　中野杏
吉田叶絵　有澤幸馬　細川味千花
中野颯太　高柳智行　内川凜太郎
水沢楓　佐々木理慧子　森春樹
宮田旬　穴井里佳　吉岡彩妃
田頭岳　西塚咲　岡林陸斗
橋ヶ谷こよみ　樋口真緒　大河葵
開沼さくら　野口玲花　小田耕太郎
内田智貴　伊藤楓夏　中山滉士
田中花之助　下亮介　矢島芽依
佐藤築　西野重徳　小倉仁菜
山田陽菜　柳川龍希　関優菜
本間湊人　浅見蒼太　柳田圭亮
大橋実莉　斎藤愛花　曽輪誠一郎
入川ことね　有賀奏　野口珠
窪田誠士　舩田越之介　末木里歩
荻野海渡　安藤杏　佐藤心花
柳田悠菜　竹下柚季　平古場朝花
福地桃香　栗原葵　土山叶翔
蒲谷俊平　藤岡宗佑　岡田虎太朗
植松悠朱　根岸奏大朗　佐藤咲良
内村みなみ　塚野陽葵　髙本祐輝
田口初　吉田柚菜　中村澄礼
嵯峨奈央　山本瑠美　西尾悠
関谷優助　宮島諒一　深山侑眞
山岸令奈　石七海　石原優莉
平井快弦　渡邊理奈　中島洸
沖倉吉騎　赤澤結人　小幡光樹
天野史康　白崎蒼人　元川結莉乃
中田瑛深　関根莉子　八木光
高田彩花　上野愛菜　長倉渚
福島多緒　山中琉意　山本葵
市東麻里　山中湊　熊谷瑶心
内藤遥夏　今井花　末平直太郎
紀平壮一郎　潮真生　大滝珀琥
清水咲里　山本真子　横田健正
村井遥音　東山采世　井上惇也
中島花梨　貞光優花　竹田彩夏

麻柄成那　青木擢人　武居紗和　白島湊　真田沙季
加藤紡実　吉森樹里　加藤伶唯　横山穂夏　小畑朔太郎
幹純榎　渡邊悠人　宮崎幹代　宮内律花　今枝栞那
吉田理人　高岩奈菜子　佐尾燈　小田嶋快　今野羽雲
鵜塚まり　山本紅緒　関優龍　杉浦秀真　中川結翔
松川芽吹　渡邊仁舵　尾崎由奈　森律人　村上和奏
杉山葵　松本ひなた　林千夏　川口櫂　蓑輪姫奈
舟越桜花　桑原己徹　上家たまき　田中絢斗　北川明日香
渡邊龍弥　宮村日向実　上家暁　田中陽向　森山秋星
吉岡岳　宮沢桃子　久保祐翔　山崎紗玖良　立本瞬
奥村仁　古賀怜奈　日髙優希　佐藤吏沙子　高橋優莉菜
今田創介　関口桃　平賀美咲　内山朝陽　佐藤晴真
矢島芽依　平山才人　鈴木維央里　蕎原屋咲月　千田瑛真
楠田みすず　吉國善　田中来夢　長澤学杜　黒田陽菜
鎌田智晴　三上大輝　鈴木惇之助　飛田夏那　岩渕雅頼
細川翔　酒井優子　岡村麦　末竹幸之助
山本楓　佐伯託也　中島衣茅乃　工藤葵
京極瑞紀　臼井涼々　笠田凛奈　松原実咲　奥原心結
野崎はるか　中道龍馬　鈴木惇之助　田中来夢　寺西悠晟
三浦翼　河原晴信　大西旭　中田桃嘉
西宇紬　小川陽葵　橋本樹　高橋凜　淺田結月
加藤結子　塚田凱斗　森本莉奈　本城悠衣　祐乗坊りさ
飯島眞子　石川新夏　尾堂友哉　今田俊樹　白波瀬璃乃
浅野志築　青木美怜　尾堂力哉　中司結久　井川杏慈
平島優鈴　鴻野珠生　来間陽咲　加藤貴之　河野絆愛
高田小夏　浦野旭　鳩凪咲　清水嵩大　小嶋さら
髙木栞里　石川怜依　一本木愛　南夏帆　土屋律喜
高木笑里　椎野翼　鵜木ななみ　清水奏遥　根本一正
青艸真央　渡部莉凪　前田明璃　大場あさひ　鍋島碧志
西尾悠　大原諒真　新野明里　室越恋花　江藤旺佑
宮島諒一　川畑燈真　興石梨花　松本善哉　大塚実結
石七海　椎津羽奈　大原怜　三浦薫　稲村実和子
赤澤結人　瀧本莉雅　井口悠五　伊山佳歩　安川なこ
白崎蒼人　廣瀬浚磨　芹澤里咲　和田悠夢　滝川葵
関根莉子　田邊稜　高橋翔　前田勝乃心　吉海夏央
上野愛菜　島田雄海　門田悠見　楠原彩月　丹呉陸人
山中琉意　河内采夏　菊地優月　小竹莉來　鈴木らら
山中湊　福間雪乃　川手朝貴　青木ひなた　古橋丞
今井花　秋山蒼大　大島有結実　堀尾柑奈　保谷マヤ愛子
潮真生　五十嵐倫太郎　杉谷七瀬　澤田倫太朗　岡野楓
山本真子　橘髙桃子　奥間敬太　小川直輝　定岡真代
横田健正　村井雄磨　田沢歩　眞鍋壮太朗
井上惇也　吉良美里

小林奏瀬　佐藤裕奈　中島征士郎　松本丸奈
木潤之介　矢塚大介　茂木心太郎　梅村明日美
福田彩七　金子晴美　赤間結名　遠藤佑晟
松下稜　石森巴瑞希　山下彩希　萩元陽咲
上村碧　齋藤築　瀬川紗希　中村結花
南遥玖　中山陽海　村田悠真　森下琳孔
今浪愛美　小野澤紬　黒河内重幸　森下凱琳
西村彩之介　岡野麻那　寒川陽葵　甲地真里子
岡本華　齊藤太一　増井元希　波田和奏
宮本詩月　豊田一葉　清水いづる　金丸創汰
高橋優香　山下結叶　谷川智悠　片田明李
南部陽花　河村進士朗　加藤シンタ乃恵美　小檜山結月
齊藤惠大　猪俣燈里　高埜万由衣　松岡和輝
清水宏哉　萩原穂太郎　關口和夏　竹田櫂
土橋美結　坂元楓花　辻理桜　小林瑞穂
中谷茉織　坂入杏奈　石井篤人　竹内寧音
林奈々実　後藤櫂　吉田藍波　有井桔花
鈴木ことは　伊藤青　中岡琴音
佐藤わかな　宮崎稔也　中山結唯
深澤伸二郎　池邊明空　松原知希
加藤瑞季　佐々木蘭　桑原希奈　林円
宮里結衣　木我明寧　清水海音　黒田華帆
佐藤煌雅　竹田晴羽　安藤直大　柴田湊翔
山口莉沙　中村碧芭　佐藤来夢　青木笑那
藤井亮剛　酒井健翔　池澤奈那　安田ゆり子
須古紬　若林えま　久保壮太　小塚稜生
重冨柊志　山口修平　平原千寛　幅舘瑠美
能勢和香菜　太田玲衣奈　篠原千恵子　正木愛理
伊藤美結羽　髙橋凰花　神崎航　宗像風歌
木村響　眞柄樹　眞柄湊　柏原ほのか
高橋澪　高橋幸大朗　中村寛大　高橋瑞穂
橋口葉那　吉田絢香　覺正彬人
中村優月　齋藤澪　西川楓真　渡辺穂乃実
大友春舞　桃原結香　茅根花佳　篠原諒祐
今紗弥乃　井上彩希　神林陽夏　犬丸天歌
小梢知果　青木岳洋　山下果音　下田裕介
木村晃栄　北島悠倫子　山内芽依　佐藤京介
武内志樹　中村紗也　大杉小葉奈　仲野琴音
渡邊純大　朝日大地　孕石匡宗　飯山華帆
宮下大輝　秋山詩乃　阪口千弦　山﨑杏莉
佐野奏　岡野結芽　細野悠貴　萩元陽咲
長谷川薫　和田丈司　山本悠生　芋田望花

川崎寛斗　国分愛実　天野陽翔　藤田脩都
中山佳音　阿出川瑠偉　横村泉　野田敬杜
南部将利　浦山裕貴　鶴岡由紀音　大野あずみ
牛山沙紀　赤坂健誠　佐藤瑛代　増尾陸
松井慧介　大井美空　中村ののか　加藤紗彩
加藤莉依　瀬戸友聖　酒井航志　森川礼士
池田愛菜　小林千恵　白川柚花　安部悠
畑岡美紀　八木咲弥佳　内山裕貴　川崎汐凛
藤原環　沖平ひなた　照井和志　蓮見太陽
齊藤希子　松山碧　高橋壮　山本海成
池田結菜　犬飼勇斗　小川陽葵　松本歩夏
宮崎陽也　和泉舜大　田口佑都　冨川恵愛
藤永彩花　南澤侑奈　矢野恵琉　板谷秋緒
大井結愛　並木慎太郎　尾城心都　川原悠聖
藤木にほ　川上璃奈　松丸青翔　大塚泰介
杉浦由衣　川上栞奈　大久保実日子　千葉渚
勝山陽翔　坂本瑠那　小椋香波　木村太河
島村欣司　櫻井文久　杉山いろ葉　髙橋実咲希
秋山楷斗　藤村光耶　矢野正人　佐々木仁
岡田晴　辰巳新　加藤湊　林理央
中山優太　鈴木暖士　中村勇心　鑓田悠希
上村泰士　落合思歩　小林永　宮崎權有
阿部なな実　浦野結衣　千丸奈那佳　中村水紀
石原唯花　藤崎奏哉　市村美空　林桔嘉
松田璃乃　永島想良　井能杏夏　平野煌
影山葵　柳澤直朋　廣田一椛　藤田ゆい
中山湊大　横田知佳　鈴木あかり　米倉朔太郎
石川輝　北見拓人　板倉詩　徳世暖
片岡咲乃　平井喜一郎　飯塚友彩　植田あさひ
河田千恵子　宮本彩名　高野千鶴　桐山葉留
小林美友　佐藤樹輝　中村健吾　菅原好登
石橋佳樹　若山華蓮　伊藤茜　坂本龍空翔
鶴見碩晃　川口奈南　梶山景生　末廣大輝
為井祥子　小松幸央　阿部遼亮　浅田悠夢
荒井奏太郎　土屋優奈　井手秋晴　若林楓真
萩沢結夢　松木美緒　森脇芽生　辻宗一郎
基ののか　金田恵菜　石田花　佐久間彩代
高倉湊　本吉ゆう　吉田悠吾　野村美結
鈴木音花　梶原リーヤ　竹内理紗　竜野統偉
有嶋櫻　宮本恭輔　古川凱士　矢澤隼
佐藤蘭奈　大矢航平　松永承大　梅田琳太
中條凜子　末澤稜大　鈴木彬高　後藤凛

木本健聖　白須楓乃　坂西璃月　多氣奏江
猪端太朗　山中遥太郎　一色琢史　柘植瑛斗
黒山朝陽　原田望未　髙橋蓮奈　鈴木海飛
大野耕暉　山口栞奈　山本侑來　関野翔央真
藤澤利斗　米田悠馬　韋朱里　恒川遥紀
小林絢士　志熊琴音　宮坂奏太　松本恕
水野色晴　安井紬　大久保知馬　鈴木遙馬
森茜音　佐藤琴美　山名壱之介　只野新奈
近藤結　川崎純矢　青木湊　園田慈
江原仁子　幸田悠太郎　塩谷優里佳　山屋風季
野本優心　竹脇輝　川嶋璃誉　幸坂綾人
山本仁愛　藤本玲奈　白倉凛花　川上莉璃
小林佑真　松澤潤　川平笑歌　竹祐希
山寄門　飯塚悠真　大塚湊　西嶋凜
太田瑞葵　望月絃天　今泉雄翔　石丸もも
江川真悠花　安西ほの花　宮崎可帆　山岸我玖
江川咲悠実　瀧川晴太朗　浅田未玖　水上莉愛
池田大和　小谷颯矢　平河栞奈　秦つかさ
村上日咲　遠藤璃子　鈴木友凛乃
伊藤資記　篠原怜　水野時志

## 小学校社会科見学

杉並区立小学校では、郷土の歴史や文化に触れる社会科見学を実施しています。当宮を参拝し境内を散策、北参道から和田堀公園を抜けて郷土資料館に向かうコースが多いようです。この秋は、天沼小を皮切りに杉二小、井荻小、桃井第三小、馬橋小、三谷小、杉四小、杉一小の3年生たちが来宮し、神職より由緒や境内の説明を受け雅楽に耳を傾けました。

## 中学生職場体験学習

杉並区の区立中学校では、社会の仕組みを学ぼうと職場体験学習を実施しています。11月25日～28日と12月1日の5日間、宮前中学校の2年生女子1名が職場体験を行いました。また12月2日には、方南小学校6年生女子4名も一日体験学習をしました。

## 楽しませてくれた汽車

「先生、汗いっぱいかいちゃった！」と冬でも汗をかきながら走り回る子ども達。寒い日でも玄関から一歩中へ入ると、園庭は、ぽかぽかの暖かさ、賑やかな声で溢れています。運動会が終わった頃から、年中年少さんが憧れのリレーをしたり、年少さんが補助なしの自転車に挑戦したり、年長さんがドッジボールを始めたり新しい事への意欲を感じます。自転車置き場では、ポケットいっぱいにどんぐりを集めている子ども達の姿も・・・。虫かごを片手に虫探し、つかまえた虫の名前を昆虫図鑑で調べたり、体操の時間に教えてもらった鉄棒を一生懸命練習したり、バナナ鬼ごっこやサッカーボールを追いかけて園庭中を駆け回ったり、なわとびを夢中になって跳ぶ姿は、生き生きとしています。

平成26年度に創立65周年を迎え、記念に園庭の遊具の中でも大人気の汽車が新しくなりました。20年以上もたくさんの子ども達を楽しませてくれた汽車とのお別れは、ちょっぴり切なかったですが（今までありがとう！）と感謝の気持ちで解体される様子を見守りました。

新しくなった汽車では、神職さんにお祓いしていただいて神様に見守られながら、うれしそうに遊んでいます。

子どもは、遊びを見つける天才です。おひさまをいっぱい浴びて広い園庭で、いろいろな遊びを展開しています。時にはケンカしたり、「先生！」と助けを求めてくる事もあります。泣いたり笑ったりしながら、いろいろな事を思い、考え、進んだり戻ったり日々成長している子ども達と一緒に私たちも、悩み考え、心を育んでいきたいと思います。

教諭　丸山尚子

## 結婚式挙式者芳名（敬称略）

平成26年9月1日～平成26年11月30日

大塚龍太朗・香澄　武田俊也・敬子
カニングハム　パトリック・薫　西岡伸広・亜紀子
中島千幸・かおり
笹谷亮太・絵美　菅野明彦・かさね

緑豊かな都心の杜（もり）で
絆深める和婚式
成人式　卒業式
衣装・美容着付・写真・初宮饗膳（ご会食）など承ります。
清涼殿　03(3312)7515

## 新年にはご祈願をお受けになり、清々（すがすが）しい一年に致しましょう

平成２７乙未年　元旦零時　神能「翁」・厄除開運大祈願祭（一番祈祷）斎行

元旦零時、宮司による初太鼓

観世流の新春を寿ぐ神能「翁」

息長鈴（おきながすず）による鈴振り神事

清々しい初日の出を迎え、多くの参詣者で賑わうご社頭

歳旦祭

立正佼成会 庭野会長らご参拝

１年の幸せを祈る

陸続と続く初詣者で溢れる表参道

授与所にて新年の御守を受ける参拝者

大的式

**大　宮　第101号**
**平成２７年 新春号**
平成２７年１月１日発行
**大宮八幡宮社務所**

〒168-8570
東京都杉並区大宮２-３-１
電　話 (3311)0105　FAX(3318)6100
Mail：info@ohmiya-hachimangu.or.jp

## 新春の代表的な御守